

さくら通信

Q H

Hoju Group 宝樹会

No.18 2020

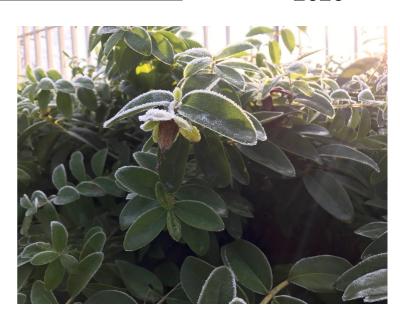
宝樹会によるウィーン発の浄土真宗会報誌

道を求めるこころ(14) 道を求めるこころ(その2)5 岡本英夫

女性の善知識

女性の善知識も数多く登場します。その中、25番目の善知識である獅子奮迅比丘尼(ししふんじんびんじんびんに)を見てみます。「叡智の女性の住とも言われる人です。この女性の住処は無辺荘厳国(むへんしょうごんこく)の迦陵伽林(かりょうかりん)の城です。果てしなく荘厳されている(*1)国。この国の精神的深さが思われます。また、迦陵伽はている(*1)国。この国の精神的で、お思われます。また、迦陵伽はで、精神的に深く明敏であるという意味で表す環境の中に、この女性が意味を表す環境の中に、この女性が全人で、精神のに深く明敏であるという意味を表す環境の中に、この女性が

この女性の徳を表すのに、住んでいる庭、林というべきでしょうが、 その様子で象徴しているようです。



木のもとのお話(18)

まず「満月」と名づくべき樹木がある。周囲を静かに照らす大きな存在です。

第2は「普覆(ふふく)」。大きな傘です。多くの人を雨宿りさせることができる。

第3は「華蔵(けぞう)」。高い樹で、葉と葉の間に飾りがあ る。全身の美しさでしょう。

第4は「柔軟(にゅうなん)」。果実を生み出すのに光をもって する。その優しさ。

第5は「明浄(みょうじょう)」。宝石のように光り輝く明朗 性。

第6は「衣(え)」樹(えじゅ)。妙宝(みょうほう)の着物を 着こなす力がある。

第7は「歓喜(かんき)」。自然の音楽を奏で、常に内心に喜び を湛えている。

第8は「普荘厳香薫(ふしょうごんこうくん)」。あらゆる香り を漂わす。

これらの特徴を持つ樹木のなかに現れたその女性は、次のようであった。厳かで、心はしっとりとし、歩くこと象のごときであり、性格は明るく、何ものも恐れず、誰もこの人を覆すことができず、悩む人に涼香を与える。

童子はこの女性の生活全体に触れて、教えを聞く前に心身柔軟となり、限りない法の雲に心を潤され、喜びのあまり五体投地して身を投げ出したのです。 (続く)

(*1) 荘厳されている....願いをもって作り上げられている、という意味

さくら通信 SAKURA JOURNAL No.18 2020年 発行元 宝樹会 Dieter Pasching 小松由佳 www.hojugroup.world email: dieterpasching15@gmail.com

